天竜を下る伊那路一泊ウォーク（駒ヶ根市～松川町）

申込開始　7月27日（月）より

☆ 実施日　9月12日（土）～13日（日）
☆ 参加〆切　定員49名になり次第
☆ 集合場所　富士急バスターミナル
☆ 集合時間　午前5時50分
☆ 難　度　I
☆ 参加費　2万円（バス代、宿泊代、（一泊2食付）2日目の昼食代含む）
☆ 帰着時間　18:30分頃
☆ 歩行距離　1日目14km　2日目10km
☆ 宿泊先　信州飯田「湯元久米川温泉」
長野県飯田市山本久米646－1

諏訪湖を源の天竜川を下る伊那路ウォーク。
塩尻から辰野町・箕輪町・伊那市・宮田村・駒ヶ根市・松川町・高森町・飯田市へ続く道は江戸時代に塩の道として三河、相良方面への重要な街道でした。この街道は三州街道（別名伊那街道）と呼ばれ中馬で荷駄を運ぶ通商の道として賑わっていました。今回は天竜川岸沿いを南下し、信州りんごの名産地松川のりんごを見ながらのウォークです。
◆詳細については、参加される方に詳細な資料を送ります

狭山丘陵トトロの森ウォークに寄せて

佐藤和代

6月21日（日）は、朝から雨模様。季節がら仕方がないが、ちょっとがっかり。先月に続いての雨で、キャンセルが多いのではないかと心配していたが、5人だけでホットしました。

116人の参加者は、2台のバスに分乗し狭山丘陵へと出発。途中、空が明るくなって雲の切れ間もみえたりしたのですが、雨の一日でした。

スタートの東村山駅には、3本の大きなケヤキの木がありました。その中の1本は「志村けんの木」と地元の人たちが呼んでいるそうです。なんでもない木ですが、名前がついていると何だか親しみが湧いてきますね！スタートして30分の所に北山公園があり、花菖蒲まつりの最終日で、大勢の人で賑わうかと思っていたら、雨のせいか人も少なく、広い園内をゆっくり見ることが出来ました。トトロの森と呼ばれている八国山は、緑が深く今にもトトロが出てきそうな森でした。（晴れていれば木漏れ日が美しいのに！やっぱり私が雨女？と思ったりもして！）昼食場所の「いきものふれあいの里センター」では、講義室をお借りしてあったので、雨に濡れる事無く昼食をとることが出来て、良かったです。センターの職員の方々は、雨の中を歩いて来た私たちに親切にしてくださり本当に嬉しかったです。更に嬉しかったのは、講義室で食事をした人達が自主的に床掃除をしていてくれたことです。私は建物の軒下で食事をしたので、掃除のことまで気がつかず、総括として気配り目配りが足りないと反省させられました。いつもウォークを担当して嬉しく思うのは、参加者が「今日は楽しかったよ！いい道だったよ！」と言って下さることですが、それにも増して嬉しい出来事でした。

とにもかくにも、西武ドーム駐車場まで無事ゴール出来て安堵しました。次回のウォークは、晴れます様に！

狭山丘陵トトロの森ウォーク
俯瞰（ふかん）する雨に烟（けぶ）るる菖蒲園（しょうぶえん）
目に染（し）みる芝の緑や夏帽子
里山のいきもの数多（あまた）梅雨じめり

富士山お山開きウォーク
山開く先師の句碑や梅雨深し
夏疾風（なつはやて）　頬（ほほ）にはっしと溶岩（ラバ）つぶて

佐野　和彦

くつのひもをといて

その51

たなばたまつり

♪～　ささのはさらさら　のきばにゆれて　～♪

早いもので、今年も、もう！この季節が巡ってきた。
梅雨の合間の七月四日、清水七夕まつりを見に行ってきました。
「たなばた」の語源は、神話時代に夏から秋に季節が変わる頃、選ばれた一人の少女が、人里離れた川や海の岸に作り掛けた「柵」（たな）の中で「機」（はた）を織りながら水上を渡って訪れる若い神を待つ風習があり、この「柵」と「機」を語源にしているそうです。又、七夕のさまざまな願い事を星に祈る行事は、江戸時代に庶民の間に手習いがひろがると、人々が色とりどりの短冊に願いや祈りを書いて笹に飾るようになり、広がったようです。

地元（本町通り商店街）でも毎年行われていて、今年は、八月一日・二日・三日に掛けて行われます。本町七夕の名物（？）歩こう会のUFOゲームも健在です。
今年もきっと大勢の子供達に楽しい夢を与える事でしょう。

8月事務所休業日

5日（水）12日（水）～19日（水）26日（水）

◆いつでも気軽に立ち寄って下さい。お待ちしております◆